

## 令和5年度京田辺市まち・ひと・しごと創生有識者会議（要旨）

会議名	京田辺市まち・ひと・しごと創生有識者会議
日時	令和5年11月17日（金）午後2時から午後3時まで
場所	京田辺市役所（401会議室）
内容	1 開会 2-1 第2期京田辺市まち・ひと・しごと創生総合戦略について 2-2 地方創生推進交付金事業について 2-3 デジタル田園都市国家構想交付金について 3 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業について 4 企業版ふるさと納税の受入実績について 5 閉会
出席者	<b>【委員】</b> 谷口座長、米田副座長、足立委員、塩谷委員、鈴木委員、河内委員 <b>【市】</b> 池田企画政策部長、森田企画政策部副部長、栢木係長、高橋
傍聴者	なし

### ◎ 「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」、「地方創生推進交付金事業」、「デジタル田園都市国家構想交付金事業」について事務局から説明の後、質疑応答

**【委員】** デジタル田園都市国家構想交付金の保育 ICT 化について、4カ所に導入されているが、全ての保育所と幼稚園に導入しないのか。

**【事務局】** 本市には公立保育所が4園、公立幼稚園が8園あるが、施設の再編整備を進めているので、当面存続する施設に先行的に導入した。再編整備の計画がまとまり次第、順次導入していくことになると思う。

**【委員】** 工業専用地域が少なく、田辺に来たくても来られない企業がある。現在、開発はどうなっているのか。インフラの整備は多額の費用がかかると思うが、田辺の活性化のために必要ではないか。

**【事務局】** 学研の田辺西地区は整備が進んでいる。市内には草内、田辺西、田辺北 IC 付近など、様々な課題はあるが工業系の適地がいくつか存在する。要望があることは承知しているので道路整備を含めた土地利用など計画的に進めていきたい。

**【委員】** 財政面も厳しいかと思うが、道路の整備も進めてもらいたい。

**【事務局】** 京都府にも引き続き要望していきたい。

【委員】 推進交付金事業の「減塩を核とした健康で質の高い生活を志向するまちづくり事業」について、“減塩みそづくり”の取組みをしているので、推進交付金の事業に取り入れて、拡充してもらいたい。

【事務局】 本事業は城陽市が中心となって推進しているものであり、既存の事業をパッケージ化したようなものである。食生活改善協議会の活動経費も含まれており、言及された“減塩みそづくり”の経費も含まれている。要望内容については健康推進課に伝える。

【委員】 「京都やましろ地域×東京しぶや連携」事業について、和文化×多文化の意味は。

【事務局】 京都山城は和文化、渋谷が多文化のネーミング。

【委員】 「京都やましろ地域×東京しぶや連携」事業の総事業費はいくらか。

【事務局】 3000万円程度。

【委員】 ブランド化は進んでいるのか。

【事務局】 他市町村との共同のブランド化はあるが、本市の事業者ではない。

【委員】 交付金に関して無駄なお金がでていないか。一般的に契約等するより高額で契約されているケースがあると聞くが、行政として精査できているか。

【事務局】 契約を行う場合、規則に基づいて見積り合わせや入札を行っているが、随意契約を行わないといけないケースもある。

◎ 「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業」及び次第4「企業版ふるさと納税の受入実績について」について事務局より説明の後、質疑応答

【委員】 京田辺市のふるさと納税の入出の内訳は。どのくらい損をしているのか。

【事務局】 企業版については、本社が本市にない企業から寄付を受けている。令和4年度は1090万円程度寄附を受けているが流出している金額を合わせると数十万円程度損をしている。

【事務局】 個人版の令和4年度の寄附額は約1億1千万円、約2億5千万円は流出しているが、交付税で補填されているので令和4年度から少しプラスとなっている。

【委員】 京田辺市在住以外の市職員が京田辺市に寄付をしてもらいたい。